

シートを作成しました!

んに、よりわかりやすく提供するために、うるま市は、
る「バランスシート(貸借対照表)」を作成しました。

(普通会計)(平成18年3月31日現在)

(単位:千円)

貸 方	
【負債の部】 ●	
1. 固定負債	
(1) 地方債	32,386,538
(2) 債務負担行為	
① 物件の購入等	0
② 債務保証又は損失補償	0
債務負担行為計	0
(3) 退職給与引当金	8,710,943
固定負債合計	41,097,481
2. 流動負債	
(1) 翌年度償還予定額	2,676,837
(2) 翌年度繰上充用金	0
流動負債合計	2,676,837
負債合計	43,774,318
【正味資産の部】 ●	
1. 国庫支出金	76,490,240
2. 都道府県支出金	9,919,241
3. 一般財源等	43,900,865
正味資産合計	130,310,346
負債・正味資産合計	174,084,664

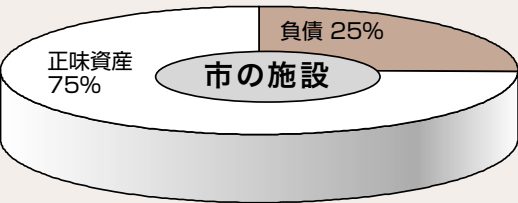
----- 1,521,588 千円
----- 437,344 千円
----- 0 千円

うるま市の負債(借金)はどのくらい?

負債は、資産を作るため調達した借金のうち将来返済しなければならない費用で、資産の25%、金額にして438億円です。残りの75%、1,303億円が正味資産となります。

つまり市民のみなさんが将来負担する額が438億円ということです。

市民1人当たりの負債 375,552円
(平成18年4月1日現在の人口116,560人で除した額)



負債の部

将来において支払や返済の必要があるお金です。
更に、1年以内に支払期限が来ないものを「固定負債」、1年以内に支払う負債を「流動負債」といいます。

固定負債

地方債(道路や公園、学校などを造るときにの借金)、退職給与引当金(平成17年度)に全職員が退職した場合の退職手当の総額を示しています。

流動負債

1年以内に返済しなければならない地方債(借金)です。

正味資産の部

※企業会計では「資本」にあたる部分ですが、その概念とは異なります。
資産から負債を差し引いたものであり、資産を作るために調達された財源のうち、これまでに負担したお金です。

国庫支出金(県支出金)

資産をつくるために必要とした経費のうち国(県)が負担した分です。

一般財源等

資産をつくるために必要とした経費のうち国や県が負担した分以外のもので、市民のみなさんが納めた税金や使用料・手数料などです。

正味資産とは

地方公共団体は、営業を目的としないため「資本」に当たるものはありません。そのため「資本」に代えて「正味資産」の呼称を用いることにしています。

うるま市の資産と収入

平成17年度末におけるうるま市の資産は約1,741億円で、その内訳は、建物や土地などの有形固定資産が資産の93.6%を占めており、残りの6.4%を投資等(公営企業や外郭団体等への出資金、貸付金、特定目的基金など)や流動資産(現金、預金、未収金)となっています。

現金、預金は、資産合計のわずか1.3%にあたり、資金のやりくりがかなり厳しい状況にあります。